

平成 29 年 3 月 30 日

利用団体の皆様へ

兵庫県による「要緊急安全確認大規模建築物にかかる
耐震診断結果の公表」について（お知らせ）

日頃から国立淡路青少年交流の家をご利用いただき、感謝申し上げます。

さて、去る平成 29 年 3 月 29 日、兵庫県が公表した標記の件について、各報道機関から当青少年交流の家「渡り廊下」が「大規模地震（震度 6 強から 7 に達する程度）で倒壊や崩壊する危険性が高い評価区分Ⅱ」として報道がなされ、利用団体の皆様には大変ご心配をおかけしております。

今回、公表された渡り廊下は、本館と食堂・講堂棟を 1・2 階で結ぶためのもので、大規模地震により直ちに倒壊、崩壊するものではなく、その危険性が高いとの評価がなされたところです。

なお、この渡り廊下は、利用者の通行も多いことから、すでに平成 29 年度の早い段階で耐震改修工事を行うべく準備しているところです。（別紙参照）

また、渡り廊下以外の本館・宿泊棟等に関しては既に耐震工事済みであり、利用団体の方々の活動に支障がないことを念のため申し添えます。

つきましては、こうした現状をご理解いただき、引き続きご利用いただきますようお願い申し上げます。

当青少年交流の家では、建物の安全点検や関係者の注意喚起に努め、安心安全に細心の注意を払いながら施設を運営しております。

国立淡路青少年交流の家
所長 大本 晋也

耐震診断結果の公表にかかるとの渡り廊下部写真

